

第1回荒尾駅周辺地区バリアフリー基本構想策定協議会 議事録要旨

開催日：令和6年2月8日（木） 15：00-17：00
 場所：荒尾市役所32号会議室
 出席者：荒尾駅周辺地区バリアフリー基本構想策定協議会委員15名（内代理1名）
 ※別紙出席者名簿のとおり
 事務局：都市計画課：畑田課長、小宮課長補佐、前畑
 産業振興課：岩下課長、濱北課長補佐、平山
 総合政策課：中山課長
 福祉課：浦浜課長

議事	内容
(1) 策定スケジュール及び検討手法について	<ul style="list-style-type: none"> ・策定スケジュール及び検討手法について、事務局から説明 ・説明に対しての反対意見は特になし ・主な意見は以下の通り
ご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・委員：バリアフリーは大事な考え方で、単にバリアを除くだけでなく、インクルーシブデザインという形まで進歩しており、こうした考え方を理解いただき、やってよかったという取り組みにしていきたい ・委員：説明の中で心のバリアフリーとあったが、物をつくるのではなく、困っている人がいればみんなで助けるなど、バリアがなくなる形に持っていくための施策が求められる ・委員：市民も一緒になって目標を持って、市民の方と一緒に作ることが重要である ・委員：ここで出た意見は反映できる部分と反映できない部分が出てくると思うが、それは、まちづくりで検討していくので、忌憚の無い意見を言っていただきたい
(2) 生活関連施設・経路の設定方針について	<ul style="list-style-type: none"> ・生活関連施設・経路の設定方針について事務局から説明 ・説明に対しての反対意見は特になし ・主な意見は以下の通り
荒尾駅	<ul style="list-style-type: none"> ・委員：荒尾駅は古風な駅であるが、駅前にモニュメントがあり、放射線状に広がっている道路があるため、都市計画的には遺産級の面白い立地である ・委員：駅を何とかしたい、人が集まらないと発展がない、南新地と駅とつなげたい ・委員：荒尾駅はバリアフリー対応でないため、障がい者やベビーカー利用者は、荒尾駅を利用せず、大牟田駅か玉名駅を利用する ・事務局：東口、西口それぞれエレベーターを設置し自由通路で結び行き来できるようにしたいと考えている
駅前広場	<ul style="list-style-type: none"> ・委員：乗降客が2,000人程度ということで、交通ロータリーが大きすぎる印象 ・委員：子どもたちが安心して歩ける安心感のある場所になったほうがよい ・委員：荒尾駅のメリットとしては、プロログ広場に駐車ができることであり、車いすの方が安心して乗り降りできる障がい者スペースの駐車場を作ってほしい

議事		内容
駅前広場	バス	<ul style="list-style-type: none"> ・委員：バスの利用者は、コロナ前までの利用者数に戻っていないが、グリーンランドへ結ぶ路線は長期休み時に混雑する ・委員：歩道がマウントアップであれば、バスの乗降時に車いすの方がスムーズに乗降可能となるため、まち歩きの際にマウントアップの有無とバス路線はセットで見てもらいたい
	タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・委員：おもやいタクシーは観光、通勤、通学、通院等に利用でき、使いやすく安価で評価が高い ・委員：タクシーについては、荒尾駅利用者の多くが通学利用でビジネスは非常に少ないため、1~2台で十分対応可能な状況である
商店街		<ul style="list-style-type: none"> ・委員：駅から南新地の通りは非常に人が少なく、もう少し明るくしたい ・委員：大正町通りは店に入るのに、歩道の横の段差が大きく、障がい者は利用しにくい ・委員：以前は、荒尾駅から商店街を巻き込むことで地域の浮揚を目指していたが、人材不足で商店振興会等が解散してしまっている ・委員：駅前の空き地でフリーマーケットなどを行う試みはこれまでやってきており、そうした取組みを海陽スマートタウンとつなげて、地域開発を行っていききたい ・委員：南新地ができ、沿岸道路が整備されれば、人の流れが若干変わり、新たな地域になるのではないか
経路		<ul style="list-style-type: none"> ・委員：歩道は道路より少し高く、宅地の出入り口付近は斜めになっていて年寄り、足が弱い人、歩行者にとっては危ない ・事務局：マウントアップの歩道は、歩行者目線からして歩きにくいとよく言われており、改良しなければいけないところについては順次改良していくべきものと思っている ・委員：駅前に歩道はあるが、急に狭くなっている箇所がありベビーカーや子乗せ自転車で利用する際に危険と感じる ・委員：ベビーカーを利用する際は、歩道の小さな段差も気になる ・委員：停車場線には、街路樹の根上がりや、時期によっては葉も落ちており、そのあたりを解消していくと子育て世代の人たちも安心して道路を利用することができるのではないか ・委員：海陽スマートタウンに住んでいる子どもたちは停車場線を通ると思われるため、ゾーン30プラスなどと絡めていけたらと思っている ・委員：荒尾市周辺の地域は、特に人流が多いので事故が多い ・委員：停車場線は、今は広くないが、今後、歩行者、車のどちらを優先するのか、移動も自動車だけでなく、レンタサイクル、電動キックボード、自動運転バスの実証も考えており、いろいろな形でご意見をいただきたい
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・事務局：次回協議会は4月上旬を目途に日程調整する ・事務局：議事録や写真については、個人が特定されないように配慮し、公開する